



【作並・新川地区の魅力の増進による活性化推進事業】

【NPO法人作並・新川地区活性化連絡協議会】

# 1. 事業実施団体について

## 事業実施団体の概要

- ▶ 団体の概要、これまでの取り組みなどを簡単に記載してください

### 団体名A

NPO法人 作並・新川地区活性化連絡協議会

#### <団体の紹介>

作並・新川の住民や企業等が、この地域の活性化を図るために、平成29年9月に設立した団体  
令和2年4月にNPO法人化

### 団体名B

作並地域連合町内会  
(旧作並小学区連合町内会)

#### <団体の紹介>

作並地区の3町内会(作並町内会, 新川町内会, ハイランド自治会)によって構成している連合町内会

### 団体名C

作並温泉旅館組合

#### <団体の紹介>

作並温泉郷の振興を目的として、一の坊, 岩松旅館, 湯の原ホテル, green greenの4旅館によって構成している団体

## 2. 令和2年度の実施内容

### (1) 課題

- 人口から見た課題
  - ・ 人口減少と高齢化(高齢化率42%) ← 地域の魅力, 暮らしやすさの不足
  - ・ 若年層の流出
- 産業面から見た課題
  - ・ 入れ込み数の低迷 ← 観光客をひきつけるコンテンツの不足
  - ・ 休耕地の増加 ← 農業従事者の高齢化と減少

### (2) 事業の目的

#### 【最終的に目指す姿】

- ・ 子どもからお年寄りまでみんながいきいきと安心して暮らせる地区
- ・ 地区ごとの個性を活かし, 地域外の住民に魅力を発信し, 交流人口を拡大できる地区
- ・ ふるさとの原風景を活かし, 地区住民の幸福度を高め, 誇りを持って生活できる地区
- ・ 子育て世代からお年寄りまであらゆる世代が安心して定住できる地区
- ・ 移住者も分け隔てなく溶け込みやすい地区
- ・ 雇用機会が充実し, 生活に応じた生計を見通せる地区

## 2. 令和2年度の実施内容

### (3) 令和2年度事業の目標と実績

- (1) 遊歩道，登山道等の観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備事業
  - ・整備すべき遊歩道，登山道等の調査と選定  
今後，整備すべき遊歩道，登山道等を優先順位ごとに記載したリストを作成する  
    ➡リストの作成を完了し、登山道の現地調査を行った
  - ・地域の埋もれた名所旧跡の発掘と案内看板の設置（第1期）  
名所旧跡5か所に案内看板を設置する。  
    ➡5カ所の設置を完了
  - ・地域の伝統芸能の観光商材としての活用のための体制づくり  
休止中の新川田植踊保存会の活動を再開する。  
    ➡活動を再開し、記録の保存と、踊りの継承について検討している
- (2) 観光マップの作成
  - ・地域周遊のための観光マップの作成と活用  
観光マップ5,000部の作成と活用  
    ➡5,000部を印刷し、観光案内所、市民センター等へ配架
- (3) 観光プロモーションの実施  
地域紹介用ホームページの運用 アクセス数11,000件(約30件/日)を目指す。  
    ➡約500件のアクセス 目標に届かず

## 2. 令和2年度の実施内容

### (3) 令和2年度事業の目標と実績

作並・新川地区の魅力を発信するための観光プロモーション計画の作成

「(仮称)作並・新川地区観光プロモーション計画」を作成する。

➡コロナの影響から検討が進まず 次年度以降に持ち越した

地域のブランディングに高い効果を持つシンボルマークや統一的なデザインの作成  
地域の公募により、シンボルマーク又はキャラクター等を作成する。

➡シンボルマークを作成し表彰式を実施した

観光アドバイザー業務の委託

観光等の専門の事業者とのアドバイザー契約を締結する。

➡第一広告社と契約し、マップや看板等を作成した

### (4) 観光案内人の養成

地域の名所旧跡を案内する観光案内人の養成

観光案内人制度を構築し、観光案内人を3名以上養成する。

➡案内人を3名選任した

### (5) 閉校施設の活用事業の実施

旧新川分校を活用し、作並温泉旅館組合等と連携したキャンペーン等の実施

作並温泉旅館組合等地域の魅力をアピールできる連携イベントを2回以上実施する

➡10月にキャンペーンを開催 のべ23名の参加 2回以上の目標に届かず

## 2. 令和2年度の実施内容

### (4) 事業の実施体制

当該地域では、人口減少と高齢化が進み、人的、資金的資源が限定されていることから、地域活性化を推進するためには、地域で活動している団体等が力を合わせ、それぞれが持つ知識、技能、マンパワーを発揮することで、効率的に事業を進める必要がある。

#### 作並・新川地区 活性化連絡協議会

効率的に地域活性化の取り組みを進めるため、各団体の連携を図る部分は、協議会が担う。

申請事業における  
団体の役割

#### 作並地域連合町内会 (旧作並小学区連合町内会)

埋もれている魅力ある地域資源を発掘し、整備し、また、運用していく部分は、地域の知識とマンパワーを有する連合町内会が担う。

#### 作並温泉旅館組合

地域資源を効果的に活用し、観光プロモーションを実施するといった部分は、地域の観光事業者である作並温泉旅館組合が担う。

## 2. 令和2年度の実施内容

### (5) 事業スケジュールについて

- ・ 2年 4月 鎌倉山の調査
- ・ 2年 8月 シンボルマーク募集開始
- ・ 2年 9月 シンボルマーク審査会
- ・ // 名所旧跡の調査
- ・ 2年10月 シンボルマーク表彰式
- ・ // キャンプイベント実施
- ・ // 登山道のリストを作成
- ・ 2年11月 熊沢大滝の調査
- ・ // 看板設置位置の調査
- ・ 3年 3月 観光マップの作成
- ・ // 丸太看板設置

### (6) 使用経費について

事業費総額	
仙台市助成額	294万円
団体自己負担額	188万円
事業収入	1万円
内訳	
・ 報償費	16万円
・ 消耗品費	34万円
・ 印刷製本費	64万円
・ 通信運搬費	11万円
・ 使用料	8万円
・ その他の経費	117万円

# 3. 実施した取り組みの紹介

## (1) 観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備事業

### ①遊歩道、登山道調査と選定

- ◆遊歩道、登山道のリストを作成及び調査  
➔リスト内で優先順位を決め、現地調査を実施。

### ②案内看板の設置

- ◆案内看板設置予定5箇所を調査、看板製作及び設置  
➔案内看板設置予定10カ所のうち5カ所分の現地調査を実施し、看板作成・設置を行う。

## (2) 観光マップの作成

### ①地域周遊観光マップの作成

- ◆昨年度部会で設置した作並駅ウォーキング看板『SAKUNAMI NIKKAWA Walk』を元に、3種類のウォーキングマップを作成。  
➔3つのウォーキングコースを設定し、各コース毎の見どころなどの内容を検討構成し各5000部発行

## (3) 観光プロモーションの実施

### ①地域紹介用ホームページの運用

- ◆ホームページ担当者を決定→順調に運用中

### ②観光プロモーション計画の作成

- ◆新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、観光アドバイザーのアドバイスのもと作成予定

### ③シンボルマークの公募

- ◆募集期間：8月7日～9月7日 ◆応募資格：作並新川地区在住、勤務の方 ◆応募総数：43作品(34名)

### ④シンボルマークの表彰式

- ◆開催日時：令和2年10月10日（10時10分から開始）  
◆賞金：総額10万円 3割増し商品券 ◆授賞式：特賞1名、入選2名、デザイン賞5名、作並新川賞5名



### 3. 実施した取り組みの紹介

#### (4) 観光案内人の養成

##### ① 地域の名所旧跡の案内事業

- ◆ 案内人3名を決定し、部会員等を観光客と想定し、作並駅ウォーキング看板『SAKUNAMI NIKKAWA Walk』にある「水の恵みの路」「美を求める路」「先人の歩みを学ぶ路」の案内を実施
- ◆ ガイドマニュアル素案を作成中

#### (5) 閉校施設の活用事業の実施

##### ① 事業名：『学校でキャンプ』

◆ 日時：8月29日～8月30日、9月12日～9月13日、10月10日～10月11日

◆ 会場：新川分校跡施設 ◆ 申し込み総数：8組 31名

◆ 内容：通常のキャンプ場と同様に開放

※8組の申し込みがあった10月10日～10月11日のキャンプ開放については、台風の接近に伴い中止

##### ② 事業名：『学校でキャンプ イベントDAY』

◆ 日時：10月3日～10月4日 ◆ 会場：新川分校跡施設

◆ 参加人数：キャンプ参加者8名 缶バッチ作り参加者15名

◆ 内容：協議会主体のキャンプ企画を実施

天体観測、ドラム缶風呂、むかい生き物研究所のむかっち博士による、オリジナル缶バッジ作り体験等を実施

## 4. 令和2年度事業の成果

### 事業の成果と今後の展開について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部、実施できない事業や縮小せざるを得ない事業があったが、シンボルマークの作成、閉校施設を活用したキャンプ事業などは実施することができた。
- 新型コロナウイルス感染症の流行は、活動を進める上で、大きな障害となったが、同時にキャンプ等アウトドアレクリエーションへの関心を高めるとともにワーケーションといった新たな需要も生み出している。令和3年度は、そういった新たな需要の取り込みも実施して、事業を進めていく必要がある。

## 4. 令和3年度事業の実施状況

### 令和3年度事業の実施状況について

- ①遊歩道，登山道等の観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備事業
  - ・設置する看板のデザインについて検討中
- ②観光マップの作成と活用
  - ・新型コロナの影響から、年6回開催予定であったまちあるき事業を中止
- ③観光プロモーションの実施
  - ・おもてなしフラワー企画（企画名「はなたんぼ」）を2回実施
  - 地域の住民やニッカウヰスキー宮城蒸留所，作並温泉旅館組合等の地元企業とともに下記のとおりひまわりの種まきを実施した。
  - また、通行者等に自由に見学・撮影等をしてもらうイベントを実施した。

種まき	1回目	5月25日	参加者	36人
	2回目	9月2日	参加者	20人

  - はなたんぼ・なつたんぼう（夏探訪）見学・撮影会

	8月7日、8日、9日	来場者	約100人
--	------------	-----	-------
- ④観光案内人の養成と観光案内事業の実施
  - ・まちあるき事業が新型コロナの影響から中止となったため、観光案内は行えず
  - ・今年度の案内人については、候補の選定を行っている

## 4. 令和3年度事業の実施状況

### 令和3年度事業の実施状況について

- ⑤学校跡施設の活用事業の実施
  - ・温泉組合と連携した魅力アピールイベントについては、新型コロナの影響から企画を中止
  - ・新川分校跡施設をキャンプ場として開放する事業を数回にわたり実施した。  
開放回数 2回（4日間） 延べ来場者 13人
- ⑥移住者獲得に向けた地域情報の収集と受入体制の検討
  - ・昨年度収集した情報の活用法を検討中
- ⑦特産品の開発
  - ・令和3年7月に新川クレソンの会を設立し、安定生産と栽培促進を図る
- ⑧協議会活動への地域の若者の参加促進
  - ・検討中
- ⑨地域のIT化推進事業
  - ・仙台市が今年度中に実証実験を予定している、（仮称）地域生活支援システムの開発と合わせ、スマホの使い方講習等を検討中